**２０２３年７月30日(土)　ほんまち町屋館会場**

山西雅子

アトリエに遺る絵筆の穂の涼し 大塚次郎

扇子はたはた柱時計が刻を告ぐ 飛田小馬々

山道に迷ひて白昼のダリア 上村敦子

〇 稲花を抱き亭午を直立す こしだまほ

田水沸く中に生きとし生けるもの こしだまほ

上村敦子

ソーラーパネル万緑に黒き穴 河西志帆

目の前を蜥蜴無音のワンカット 大塚次郎

側溝の音は小諸の山清水 伊藤修文

〇 竹節虫の軒にあつまる極暑かな 山西雅子

蟬声のふりそそぐなり氷室跡 山西雅子

青木順子

山道に迷ひて白昼のダリア 上村敦子

影踏みや集まる影に水を打つ 河西志帆

稲花を抱き亭午を直立す こしだまほ

炎天の菊畑守るただ一人 山西雅子

〇 仏具めくダリアの蕾てかてかと 飛田小馬々

伊藤修文

人恋ひて枝離れたか青胡桃 青木順子

扇子はたはた柱時計が刻を告ぐ 飛田小馬々

田水沸く中に生きとし生けるもの こしだまほ

後ろ髪引く改札に並ぶ瓜 河西志帆

〇 清流に萍ひとつづつ解かれ 上村敦子

伊藤　政

日盛の石垣の隙何かゐる 大塚次郎

空蟬の数へ始めてきりもなし 飛田小馬々

〇 目の前を蜥蜴無音のワンカット 大塚次郎

烏瓜魔法のやうに花開く 大塚次郎

日盛や流れを常に与良の道 こしだまほ

こしだまほ

竹節虫の横揺れをしてゐて止まる 山西雅子

禅寺にくしやくしやと咲く烏瓜 飛田小馬々

スーパーの匂ひ届かぬ鰻買ふ 青木順子

金網をすり抜けすり抜け夏の蝶 木山靖史

〇 側溝の音は小諸の山清水 伊藤修文

木山靖史

田水沸く中に生きとし生けるもの こしだまほ

目の前を蜥蜴無音のワンカット 大塚次郎

油照ドクターヘリの揺らめいて 青木順子

〇 日盛の石垣の隙何かゐる 大塚次郎

空蟬の数へ始めてきりもなし 飛田小馬々

萩原陽里

汗を嗅ぐ誰にも見られないように 河西志帆

仏具めくダリアの蕾てかてかと 飛田小馬々

アトリエに遺る絵筆の穂の涼し 大塚次郎

田水沸く中に生きとし生けるもの こしだまほ

〇 清流に萍ひとつづつ解かれ 上村敦子

飛田小馬々

涼しさや蜂蜜色の影を連れ 河西志帆

〇 炎天の小諸なれども水あまた 伊藤　政

影踏や集まる影に水を打つ 河西志帆

側溝の音は小諸の山清水 伊藤修文

油照ドクターヘリの揺らめいて 青木順子

大塚次郎

〇 仏具めくダリアの蕾てかてかと 飛田小馬々

汗を噴き汗を拭きつつ虚子旧居 伊藤修文

涼しさを乗せて二両の小海線 萩原陽里

油照ドクターヘリの揺らめいて 青木順子

想はざる百日草のいきれなり 上村敦子

河西志帆

〇 日盛の石垣の隙何かゐる 大塚次郎

鍵つ子さ兄との記憶のむぎこがし 木山靖史

青栗の棘やはらかし握れざる 上村敦子

吾の影のただ丸くあり日の盛り 青木順子

清流に萍ひとつづつ解かれ 上村敦子